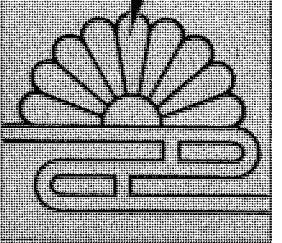


聖徳学園

ひじり



第13号

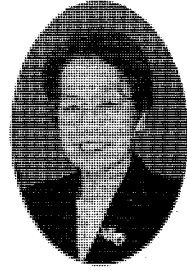
発行所

聖徳学園高等保育学校
同窓会
聖徳学園短期大学教員
養成所同窓会
聖徳学園短期大学附属
教員保育養成所同窓会
聖徳大学幼児教育専門
学校同窓会

港区三田3丁目4番28号
郵便番号 108
電話03(5476)8811代表

ごあいさつ

会長 田中シゲ子



今年は何年ぶりの厳冬とまで毎日、各地の激しい雪の生活の様子がテレビその他で伝えられておりますが、全国にお住いの同窓の皆さまには如何お過ごしかと案じております。

昨年は社会的に、いろいろ心配な事が多く、心悩ます年でしたが、お蔭さまで私達の母校は益々、発展の一途を辿り素晴らしい学園へと変容しております。

昨年は短期大学部が創立三十周年を迎え、文部大臣のご出席を頂く立派な記念式典が行われるなど華やかな行事が過ぎました。

その一つとして立派なクリスタルホールが校門を入った所に来るまで、陽を浴びた美しい姿がキャンパス内を彩っております。

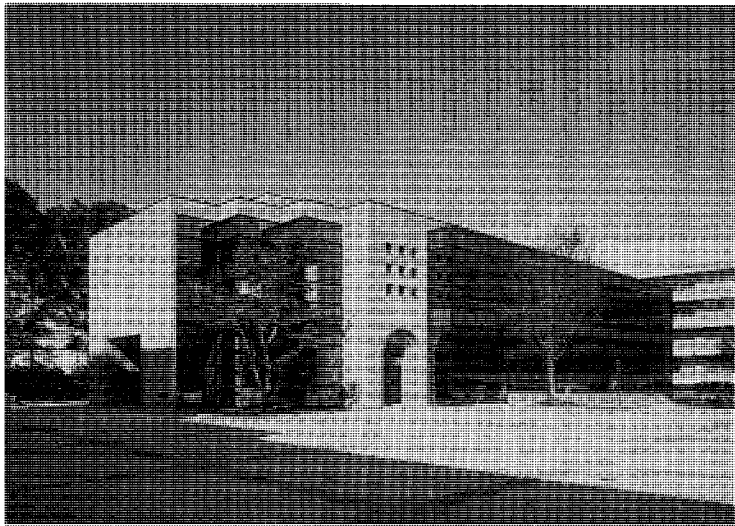
そして、その中には是非、皆さんに見て頂きたいと思う三田の養成所時代の記念となる品々が展示されている「建学記念館」があります。開校当初の写真、その頃の幼稚園に関する制服や指導案、幼児のお道具箱、等々、書き切れない

程の昔を思い出されるものが多く並べられており母校の六十数年にわたる歴史が、ひと目でわかると共に若かった自分の学生時代が郷愁のように蘇って来ます。特に皆さんに見て頂きたいのは、その室内に立っていられる川並香順先生と孝子先生の等身大の「蠅人形」です。

本当に生前のお姿そのまままで厳しい中にも温情溢れるものを感じるとき、すべてがタイムスリップして学生時代に返ったような気持ちになります。是非お二人に会いにいって欲しいと思います。

他にはクラス会も持てるような素適なお部屋もありますし校庭も素適です。

私達は三田の校舎で学びました聖徳学園の卒業生なので松戸の校舎にも来て、校内を見学したり施設も利用させて頂くなどして聖徳学園を母校とする喜びを持って頂きたいし、また皆さんの、お子さんも母校へ進学させて頂ければと願っております。別項のように様々な学習の場も設けられていますので是非参加し、ご自身の勉強の場として下さい。会の仕事は従前通り皆で頑張っております



水と緑と造形の調和した広場に建つ「聖徳大学クリスタルホール」前面のクリスタルガラス朝の澄み切った秋の陽光が輝いて……

ので今後とも、ご協力よろしくお願いたします。

ごあいさつ

理事長 川並弘昭



お久しぶりですがひじり会の皆様にはお変わりございませんか？昭和二十年に第一回卒業生を送り出して以来五十年になるうとしています。昨年度卒業したばかりの二十代前半の若い方から七十才を越えた方までひじり会の年齢層は厚くなりました。公私立幼稚園の園長としてリーダーシップをとっておられる方も数多くありますし母の教員養成機関で教員として後輩指導に意欲を燃やしている方もお幅の広い活躍が見られます。

また創立者の理想であった「和の精神」がひじり会の中で脈々と受け継がれ学園を支えてくたさることに深く感謝しております。

さてこの一年は大きな事件の続出で考えさせられることが多々ありました。敗戦から五十年、人々が努力して復興・発展させてきた

大都市が大地震によってあつという間に瓦礫の山に化してしまつたことにはショックでした。しかし全国の方々がボランティアとして現地にかけつけ奉仕活動をしたことや義捐金として援助の手を差しのべたことには現代忘れかけている人の優しさを思い出させてくれました。本学園でも幼稚園児から大学生まで全教職員を含めて約二千五百万円を寄付いたしました。



クリスタルホール(学生食堂)

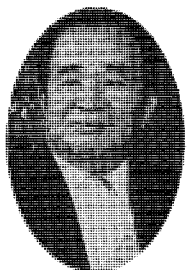
人の心の暖かさにはっとしている矢先に思しい地下鉄サリン事件が起きました。目に見えない毒ガスの散布は一万四千人の子どもや千人以上の教職員を抱える学園は恐怖でした。事件が明るみになるにつれ実行犯たちが学歴も高く社会的に尊敬される立場の人たちが居たことは脅威でした。どうしてそんなパーソナリティーになつてしまつたのであろうかと。

学校はその教育を信じた者が集つてくる場です。年令が低いほど無抵抗に教師のやり様を受け入れてしまうことでしょう。ここに「教育の怖さ」があります。です

から子どもの育児や教職にある方はしっかり目を据えて冷静な学習を積んで欲しいと思います。

「母校の近況」

幼児教育専門学校長 川並光昭



卒業生の皆様には、それぞれの場にてお元気で活躍のことと存じます。

聖徳学園も昭和八年に誕生以来六十三年を迎えました。現在は、幼稚園から大学まで十四の学校を有する総合学園となりました。そして、十五番目の学校として地域に開かれた大学を目指し生涯教育に取り組むために、平成四年十一月から聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)を開設し、地域住民や社会人を対象に、各種

二階は購買部で三階は学生食堂です。いずれも、どなたでもご利用できますのでどうぞクラス会などにお使いください。また流政之先生の制作による高さ十メートルの巨大なミニチュメントと幅三十二メートルの滝や野外ステージが造られました。大学の景観が変りましたのでお子様やお孫様を連れて是非お越しください。平成八年五月十八日(土)十九日(日)に第四十九回日本保育学会が本学で開催されます。卒業生や現場の先生方歓迎です。お誘い合せ是非おい

でください。

最後に皆様のご健勝を心からお祈りしております。

の講座を開講しております。

また、昨年の十一月には短期大学の創立三〇周年を記念して大学(松戸)敷地内に「聖徳大学クリスタルホール」を建設いたしました。その一階には聖徳学園建学記念館を設けて、学園の創立者である川並香順・孝子両先生の生い立ちと、本学園の歴史を実物展示や映像資料によって紹介するコーナーも作りました。ここでは、香順・孝子両先生の実物大の蠅人形もあり、先生の声(録音)を聞くこともできます。若き日の二人を知る卒業生の方には、たいへん懐かしい記念館として喜ばれておりますので、是非お時間を作って訪ねて頂ければと思います。

このように学園が発展してまい

聖徳大学短期大学部 創立30周年記念式典 挙行



クリスタルホール竣工式等 記念行事を合わせて開催

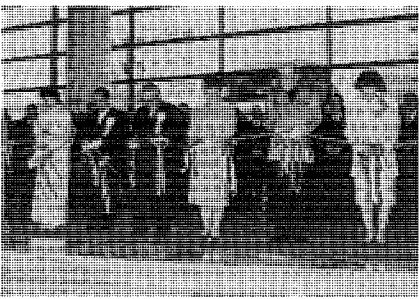
りましたのも聖徳学園の『礎』である専門学校がその歴史と伝統を積み上げてくださったからだと考えています。学校名や学校(三田)の周辺は時代と共に変わりましたが、『保育の聖徳』という看板は卒業生の皆さんの努力と実績により、現在も後輩達に脈々と受け

継がれています。そして、この看板を守るために私共教職員も、より一層努力する所存ですが、それ以上に皆様のご援助が不可欠でございます。特に、本学が最も危機感を持って直面している事に入口(入学)と出口(卒業・就職)の問題があります。最近の社会情勢

晴天の平成七年十一月一日(水)、まず記念式典に先立ち午前十時から新築の「聖徳大学クリスタルホール」竣工式が行われました。来賓、工事関係者、川並弘昭理事長はじめ学園関係者等多数が出席し、ホールのテープカット・定礎式・竣工式、利根山光人・流政之両先生合作の壁画の除幕式、利根山光人ギャラリーのテープカット、流先生の大彫刻「パチパチ」と滝の壁画「ジャンジャン」の除幕式等の諸行事が厳粛な中に



も、なごやかに且つ盛大に行われました。午後一時三十分、川並記念講堂で記念式典。式は来賓・関係者・学生代表等二百人が出席し、川並弘昭学長から短大草創期の苦難の思い出や、これからの若い学生たちを引きつける魅力ある短大づくりに努力したいとのごあいさつ、島村宣伸文部大臣・川井敏久松戸市長・佐久間彊日本私立短期大学協会会長・戸田修三日本私学振興財団理事長・竹村保三郎聖徳大学後援会会長の各氏から祝辞が述べられ、また、多数ご出席の国会・県会・市会の各議員の方々のご紹介、更に祝電のご披露と続き、最後に川並光昭学園常務理事の謝辞



して午後六時三十分、一連の記念行事は盛會裡に終了しました。

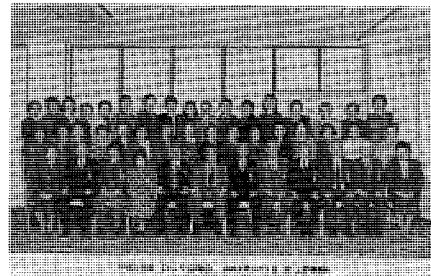
からもお判りのように、出生率の低下に伴う入学者の減少と園児減少や不況等からくる就職難は本当に厳しい状況です。どうか、卒業生の皆様が一人でも多くの後輩(入学者)をご紹介いただき、また就職については求人やご採用にご尽力くださいますようお願い申し上げます。

しあげます。末筆になりましたが、お近くへおいでの折にはぜひ学校へもお立ち寄りください、学校の様子や後輩の頑張っている姿をご覧ください。皆様のますますのご多幸とご活躍をお祈りいたします。

で式は無事終了しました。引き続き、大学吹奏楽研究会による記念演奏に移り、短大部音楽科山本真先生指揮による「秋空に」・「威風堂々」などの吹奏楽で幕を閉じました。この後、会場は体育館に移り、盛大に祝賀パーティーが催されました。

青春時代をもう一度 「同窓会に参加して」

上野の森を歩いて精養軒に入った。会場に入ると懐かしい顔……。まるでタイムカプセルを抜けて青春時代に戻ったかのよう。なごやかで華やかな雰囲気の中に包まれて



て美味しい料理とおしゃべりの楽しい時間が流れました。(参加者は写真参照) 学長先生が還暦になられたお祝いの花を参加者から贈呈することができたのも、嬉しいことでした。フィルムをフィードバックして輝かしい自分を取り戻せた一時でした。



なつかしいクラス会

去年の五月、クラス会が学校でありました。二十四年ぶりに、各地方より多数の懐かしい同期生が、再び三田の門をくぐりました。田中先生、高橋先生、桐生先生、森先生、小谷先生、小島先生のお顔を見ただけで胸が熱くなりました。小谷先生のピアノの名演奏で盛り上がり、懐かしい歌を歌うことができました。何年たっても好きな歌は忘れることはできず、もう一度学生に戻り、授業を受けた気持ちになっていました。昔の習慣は、恐ろしいもので小谷先生がピアノを弾く前に、とっさにピアノに走り寄り、汚れていた？ピアノをハンカチで拭いてしまいました。高橋先生は「そうそう、学生がよくやっていたわね。ふふふ」と笑っていらっしやいました。が……

同窓会のお知らせ

隔年に行われております同窓会が今年度は開催される年に当たっております。今回、会場は十一月一日オープンした「聖徳大学クリスタルホール」(一面写真参照)にて開催の運びとなりました。

クリスタルホールの一階には、「聖徳学園建学記念館」が設けられ、創立者、香順・孝子両先生の生い立ちや学園の発展を実物資料や映像資料により見ることが出来ます。是非早めにいらして大学の全容をご覧いただくと感慨深いと思います。

また、川並光昭校長先生の還暦も併せてお祝いしたいと思っております。

どうぞ皆様お誘い合わせの上多数ご参加くださいますようお願いいたします。

◇日時 平成8年3月9日(土) 午後4時より

◇場所 聖徳大学クリスタルホール3階 松戸市相模台五三一 松戸駅下車(案内図四面参照) 電話 〇四七三―六五一―二二 聖徳大学

◇会費 七千円(含記念品代)



永濱さんを偲んで

高井 照子

永濱さんとは、昭和二十一年、まだ学園が港区立西根小学校の中にあった頃、同級生として出会いました。戦後間もなく、永濱さんの耕の上着とモンペ姿が印象的でした。卒業後、永濱さんはすぐに中央区立十思幼稚園の主任になられ、その頃暫く一緒に働かせて頂いてお世話になりました。戦後のベビーブーム時代で、永濱さんはクラス担任と主任の役目の両方を果たされていて、大変でした。心の優しい人でした。面倒見がよくて、幼児・保護者・先生方、皆から慕われていました。動物をとて可愛がられ、幼稚園の周りに捨てられたり、死にそうになつた犬や猫などの世話を、よくされていた事を思い出します。

「母校の後輩の為に、お役に立てれば嬉しい」と母校の講師をされ、「ひじり会」の副会長をされるなど最後まで活躍されました。永濱さんとは同級生ですが、私には友達以上の人でした。出会えた事を幸せだったと思っています。

大切な宝物

澤柳 得江

園長を経て聖徳学園の講師とずっと保育に携わってきた先生は、私にとって尊敬する先生であり、また憧れでもありました。

その先生がもういらっしやらないのが今でも信じられません。学校に行けば、あの頃のように優しい笑顔で声を掛けて下さるようなそんな気がしてなりません。

数々の思い出の中で一番印象に残っているのは、卒業式の時の先生のお話です。

入学した私達を見て、「何て幼いクラスなんだろう。保育者としてそういうところも大切だけど、本当に大丈夫だろうか。」と心配すると同時に戸惑いを感じたそうです。「でも二年間、一緒に過ごして、友達に対する思いやりとか仲間意識とかがとても強くて、今までこういうクラスはなかった。卒業しても友達は大切に。」と二年間を振り返りこのように語って下さいました。先生のお話に感動し、みんな泣いていたのを今でも覚えています。

このように先生の暖かい目に見守られながら充実した学生生活を過ごすことが出来た私達は、本当に幸せでした。

私は、結婚式にも出席して頂いたのですが、その時友人達にこんな風におっしゃったそうです。「私もいくつか結婚式に出席してあげよう、こんなに大勢の卒業生に会ったのは初めてよ。それだけあなた達の友情が続いていると知ってとても嬉しく思います。これからも大切にしていってね。友達は宝物よ。」と

私やクラスの仲間にとっては、永濱先生という素晴らしい先生に巡り会えたことや数々の思い出は、一生忘れることのない大切な大切な宝物です。



故永濱サダミ先生

ベルギー・オランダを 見聞して

山本ツタ子

ひじり会主催の海外研修旅行は平成三年度から始まり、今回で第五回目となります。

水と緑と文化の国ともいわれるベルギー・オランダへ一行十五名は、八月九日十一時三〇分に成田を出発し、約十一時間でアムステルダムに着きました。現地は夕刻五時、とってもまだまだ真昼のような陽ざしです。すぐにバスで市内唯一最古の風車を見学しゴッホの絵にあるような並木道を通った時、ああ、オランダにきたんだという実感が湧いてきました。

二日目の朝、九時開館と同時に運河沿いにあるアンネ・フランクの館に入りましたが、アンネの家は第二次世界大戦中ナチスの目を逃れるために住んだ家であり、父親の会社の事務所の奥を住居としていました。この地域の建物は間口が狭く奥行きは広い。アンネの家も外見と違いい中に入ると幾つかの部屋があり、アンネの日記を綴った部屋や、資料室などを興味深く見学し館を後にしました。

館のすぐ前に船の発着所があり、私達はバスにでも乗るようになり船に乗りこみ運河巡りとなりました。オランダは、水の国ともいわれるように街の中を流れる運河は交通の一端を果しています。アムステルダムには九十からの運河があり、街から街へ住宅から住宅へ行く場合も船を利用した方が早いといわれます。珍しかったのは岸辺に浮かぶ船の水上住宅です。ベランダに花も咲かせ長く住みつ

いている人も多いという。兩岸にはイタリヤ式の建物が立ち並び明るい活気が感じられました。これとはひと味違ったブルージュエ

の運河巡りは、十三世紀から十四世紀の古い教会や建物を兩岸に眺めながら、昔むす水門や橋をくぐっていく風情は、しっとりとした味わいがありました。

アムステルダムからハーグへ、アントワープからブルージュへ移動し、教会や美術館、博物館など数多く鑑賞しましたが、印象深く感じたのは、古代の大聖堂の建築や質素で優雅なステンドグラス。十五世紀から十七世紀にかけてオランダで活躍されたレンブラントや多くの芸術家との出会いです。またルーベンスの家や庭の素晴らしさ等々、国全体が宗教や文化遺産を大切にし、誇りとしていることに深く感動しました。

この一週間の旅の中で、ほんとさせてくれたのは穏やかなブルーの街です。夕暮れの橋のたもとで音楽士の奏でる曲に人々が足を止め、自然に集い聴き入るひと時や、のどかな街を馬車に乗って散策したことも楽しい味わいの一つでした。短かい旅でしたが、暑さも程々で天候に恵まれ楽しい旅が無事に出来たことは本当に幸福でした。

二年間を振り返って

平成五年度卒 齋藤 周美 (杉並区立下高井保育園勤務)

就職をしてから二年がたとうとしています。二年前、夢と不安でいっぱい私が配属されたのは、産休明け保育園の一才児クラス。まだ歩けない子、ヨチヨチ歩きの子、言葉もはっきりしない子ども達と過ごす日々が始まりました。初めのうちは「どうしよう」と思う事ばかり。しかし、「まず始めに早く子ども達と信頼関係をつくらう」と思いました。四月の初めは役所の研修があり、その間に子ども達の他の保母と関係が出来つつあり、私は遅れをとっている、と焦るだけでした。実際子ども達は私の言うことを聞いてくれず、午睡の時私が側についても寝てくれない。私はほとんど自信がなくなってきました。何ヶ月かたち、子どもも私に慣れてくれ、私にも少しずつ余裕が出てきた時、「この仕事って楽しい。」と思えるようになりました。歩けなかった子がヨチヨチ歩くようになったり、話が出来るようになったり、毎日変っていく子ども達の成長を見るのが楽しく感じられるようになったのはそんな時でした。

「ぜったいに保母になるんだ」と思いながら聖徳での学生時代。あんな保母になりたい、こんな保母になりたい、と理想はたくさんありました。私の理想とする保母は、まだまだ遠い所にいます。私はそれに向かってスタートしたばかりです。これから先、たくさん山、長い道があると思いますが、先生と遊びたい、斎藤先生大好きとみんなに言われるように頑張っていきたいと思っています。

子どもの笑顔は私のビタミン

平成五年度卒 小林 満美 (相市私立加賀幼稚園勤務)

私は「子どもが大好きです。」子どもたちの笑顔は、元気付けてくれる魔法です。

風邪をひいて体調がすぐれない時、落ち込んでいた時、私にはほえんでくれます。小さな天使が「頑張れっ」と言っている様に。子どもたちの笑顔を見ると、不思議なことに本当に元気が出てきます。

今、四才児を担任しています。園生活の中で一番活発な時期を向かえ、戸外はもちろんのこと室内でも走り回っています。その子ども達が、様々な実習を終えてやっと一歩踏み出した私に、怒ったり泣いたり、とびきりの笑顔を見せてくれるなど、正面からぶつかってきてくれます。これも、子どもたちと共に過ごした日々があったからこそです。

子どもたちが、遊びながら様々なことを学んでゆく様に、私も子どもと遊ぶことで、その子一人一人の性格、好きな事、どんな言葉を使っているのか、友人関係など、心と体で感じとれる様になってきました。

聖徳での日々は、とても充実していました。毎日が忙しく、くじけそうになった時もありましたが、夢に向かって友達と頑張ってきた。良い友達に会えたこと、私にとっての天職を見付けることが出来たこと、そして、「子どもが大好き」と言えるのも、今現在も保育者である母、大好きだった幼稚園の先生と聖徳の先生方の愛情のおかげです。

念願の幼稚園の先生となって

平成六年度卒 熊田 寿子 (大田区立若竹幼稚園勤務)

卒業間近になればなる程新しい場所での生活が、とても不安でした。かたありませんでした。その不安を抱えながらも、新しい世界へととびこみました。

学校で学んできたことだけでは知ることのできない子ども達を目の前にし、毎日戸惑ったり悩んだり、発見したり。とても慌ただしくも、楽しい日々の連続でした。三歳児クラスの担当となった私は、四月当初は本当に不安なことばかりでした。そんな私同様、初めての幼稚園に期待と不安と胸ふくらませ登園してくる子ども達と生活している間に、私も子どもと共に園に慣れていったように思います。初めは周囲を見る余裕もなく、毎日毎日をギリギリの中で生活していましたが、そんな私が、園で成長していく子ども達と共に少しずつ余裕ある園生活を送ることができるようになりました。

子どもの成長していく姿や、できなかつたことが出来るようになったことに気付いてあげられた時の嬉しさは何とも言えません。これからも様々な子ども達の成長過程を見ていけることが、今の私の楽しみでもあります。

先生としてはまだまだ未熟ではありますが、この子ども達と共に私もどんどん成長していければと考えています。

先生としてはまだまだ未熟ではありますが、この子ども達と共に私もどんどん成長していければと考えています。

リズム講習会



盛況のリズム講習会

本年度で十四回目を迎えたひじり会主催の夏期リズム講習会も昨年に増して多数の参加者で体育館が一杯に埋まりました。

会場 松戸校舎 体育館

講師 本大学教授

井上 菊雄 先生

参加者 二二七名

寄せられた感想文には「先生に会えて良かった」という方が多くみられ、やはり同窓会主催の講習会は恩師や友達とのつながりがある素晴らしい場でもあるようです。他にも「いろいろな曲やリズムに出会えて良かった」「運動会のものでなく、お遊戯会にも使えそうなものもあった」等、喜ばしい限りです。この講習会で学んだことが、多くの幼稚園や保育園で生かされていることは大変意義深く、今後共同窓会の事業として積み重ねていきたいと思います。来年度は八月二十五日です。是非ご参加ください。

幼稚園教諭一種免許取得のための免許法認定公開講座(二)案内

聖徳大学では、幼稚園教諭二種免許状所有者が、実務経験に基づいて一種免許状を取得できる免許法認定公開講座を毎年、8月と12月に開催しています。平成七年度も夏期(7月21〜8月31日、27講座)、冬期(12月24〜12月29日、11講座)に実施をしました。

三田の卒業生の方も今年度延約30名の方が受講しています。

この講座は科目のみの受講も可能となっており、実務経験のない方も5年になる前に単位を取っておくことも可能です。

実務経験に基づいて、一種免許状を取得する場合、上表の通り単位を修得することが必要となります。

実務経験(年)	5	6	7	8	9	10	11	12
修得単位	45	40	35	30	25	20	15	10

短期大学部専攻科(二)案内

聖徳大学短期大学部には、より高度な知識・技能を学修できる10の専攻科が設置されており、その中には、保育専攻(昼夜開講制)、福祉専攻、通信教育部保育専攻があります。

二種免許状の所有者が教育職員一種免許状を実務経験に基づいて取得しようとする場合には、実務経験5年、修得単位45単位が必要となります。

専攻科	専攻科卒業生+専攻科修了生	専門学校卒業生
実務経験	3年	5年
修得単位	25単位	45単位

この講座は科目のみの受講も可能となっており、実務経験のない方も5年になる前に単位を取っておくことも可能です。

聖徳オープン・アカデミー(SOA)のご案内

「いつでも、だれでも、自由に学べる」生涯教育を合い言葉として社会人、家庭の主婦などの方を対象に、興味ある多彩なテーマを設け、年間を3期(1期4〜6月、2期9〜12月、3期1〜3月)にわけてさまざまな講座を開講しています。

分野は教育・心理、社会・福祉、語学・文学から芸術、スポーツ・健康、さらにワープロ・パソコンまで多岐にわたっており年間約80の講座が行なわれています。

受講は会員制となっており①シリーズコンサート無料(一回)②セミナーハウス学生料金利用③クリスタルホール、図書館利用などの特典があります。

※詳細は聖徳大学SOAセンターへお問い合わせください。

☎〇四七三・六五・一一一

聖徳学園セミナーハウス「かすが荘」に露天風呂が完成

昨年十周年を迎えた「かすが荘」に待望の露天風呂(男女別)が完成しました。大浴場(超音波バブラス・サウナ付)、大広間、セミナー室に加え、温泉プール、総合体育館、バーベキュー広場、テニスコート、ソフトボール場など各種スポーツ施設を併設した「かすが荘」は、在学生はもとより、卒業生、一般の方々も自由に利用することが出来ます。

かすが荘の近くにはアルプスの眺望が満喫できる美ヶ原や彫刻の森美術館、白樺湖、蓼科高原があり四季折々の季節に応じて風景を楽しむことが出来ます。

特に本学園の卒業生は、一般料

温泉 ☎〇三六七・五二・二二一(代)
交通：信越線小諸駅よりバス50分
上信越道佐久ICより30分
東京事務所(聖徳学園本部内)
☎〇三・三四五四・三六〇四

平成5年度 決算報告

平成6年3月31日 現在

(単位 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	7,653,923	前年度繰越金	12,041,278
5年度維持金(304名)	2,432,000	5年度基本金(304名)	608,000
雑 費	1,402,892	利 息	336,817
合 計	11,488,815	合 計	12,986,095

科 目	予 算	決 算	内 容
行事費	800,000	1,032,939	新入生歓迎おかし、総会
通信費	500,000	596,128	はがき、封筒
印刷費	500,000	211,562	ひじり12号、はがき
会議費	300,000	349,364	幹事会、編集会議
慶弔費	300,000	230,900	学園60周年お祝、山内・国分先生
事務費	30,000	28,032	紙、公立幼名簿、他
備品費	50,000	0	
予備費	7,605,923	3,488,661	いきいき先生ヒント集
合 計	10,085,923	5,044,423	

科 目	収 入	支 出	繰 越
金 額	11,488,815	5,044,423	6,444,392

平成6年度 決算報告

平成7年3月31日 現在

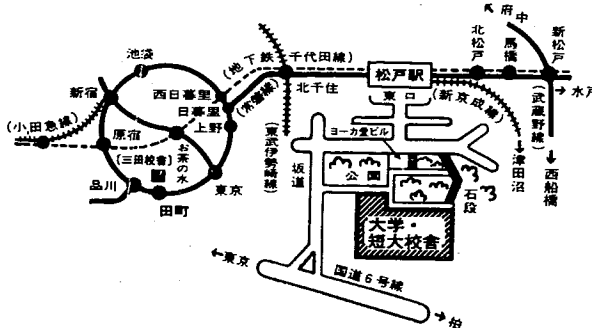
(単位 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	6,444,392	前年度繰越金	12,041,278
6年度維持金(245名)	1,960,000	6年度基本金(245名)	490,000
雑 費	853,671	利 息	536,729
合 計	9,258,063	合 計	13,068,007

科 目	予 算	決 算	内 容
行事費	800,000	764,231	新入生おかし、卒業記念品(71名)
通信費	500,000	321,329	はがき、切手、他
印刷費	500,000	30,900	旅行、行事案内
会議費	300,000	178,098	幹事会
慶弔費	300,000	131,930	利根山・本橋先生、阪神震災
事務費	30,000	13,531	コピー代、紙、公立幼名簿
備品費	50,000	0	
予備費	5,924,391	0	
合 計	8,404,392	1,440,019	

科 目	収 入	支 出	繰 越
金 額	9,258,063	1,440,019	7,818,044

聖徳大学案内図



▲大学・短大校舎
〒271/千葉県松戸市相模台531
TEL.(0473) 65-1111(大代)

◆交通
・常磐線松戸駅下車(上野より18分)
・地下鉄千代田線松戸駅下車
・新京成線松戸駅下車(津田沼より50分)
・京成バス(総武線市川駅より35分)

編集後記

「かわらなきやもかわらなきや」というCMが平成八年の幕開けから盛んにTVから流れてきます。

二十一世紀に向けて時代の大きな変化を幼児教育に携わっている私たちも感じています。

子供たちが二十一世紀へのかげ橋となって活躍してくれることを願って、私たちの母校も変化を続け大きく発展して参りました。

「ひじり」の会報が皆様と母校とのかけ橋となることを祈ります。